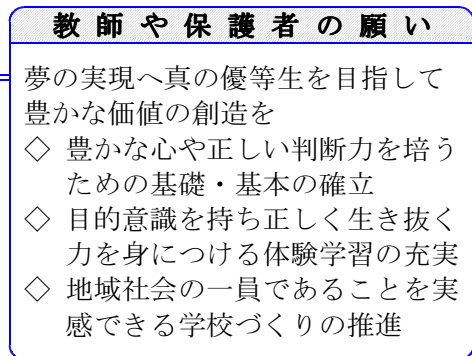
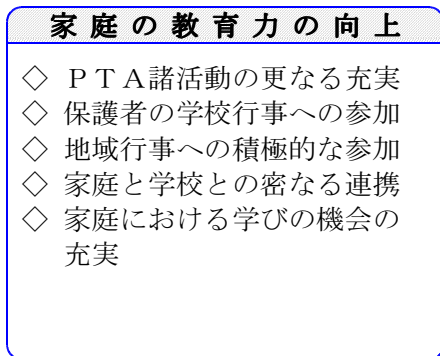
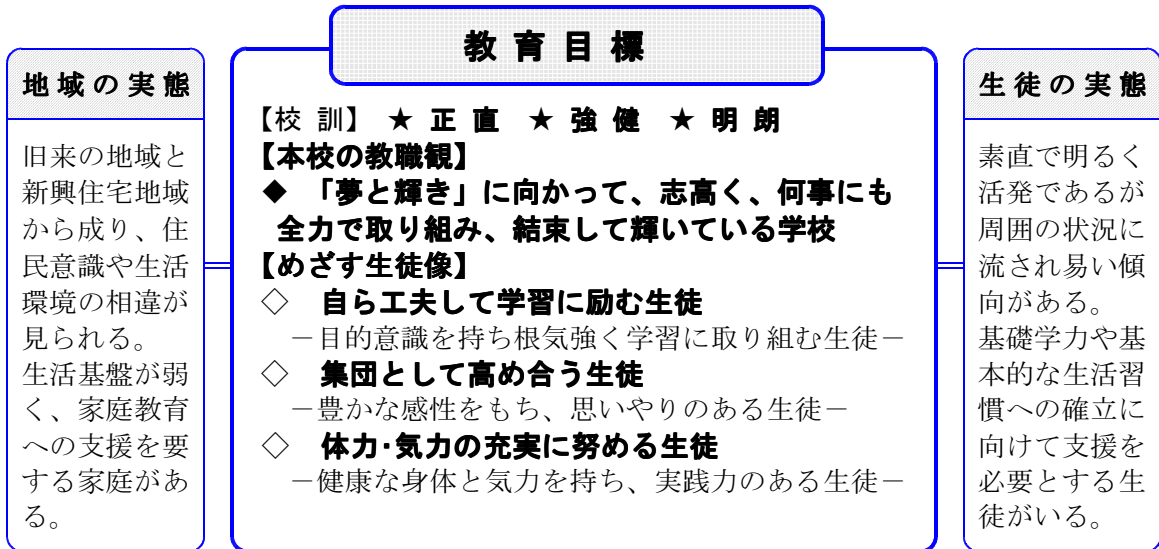
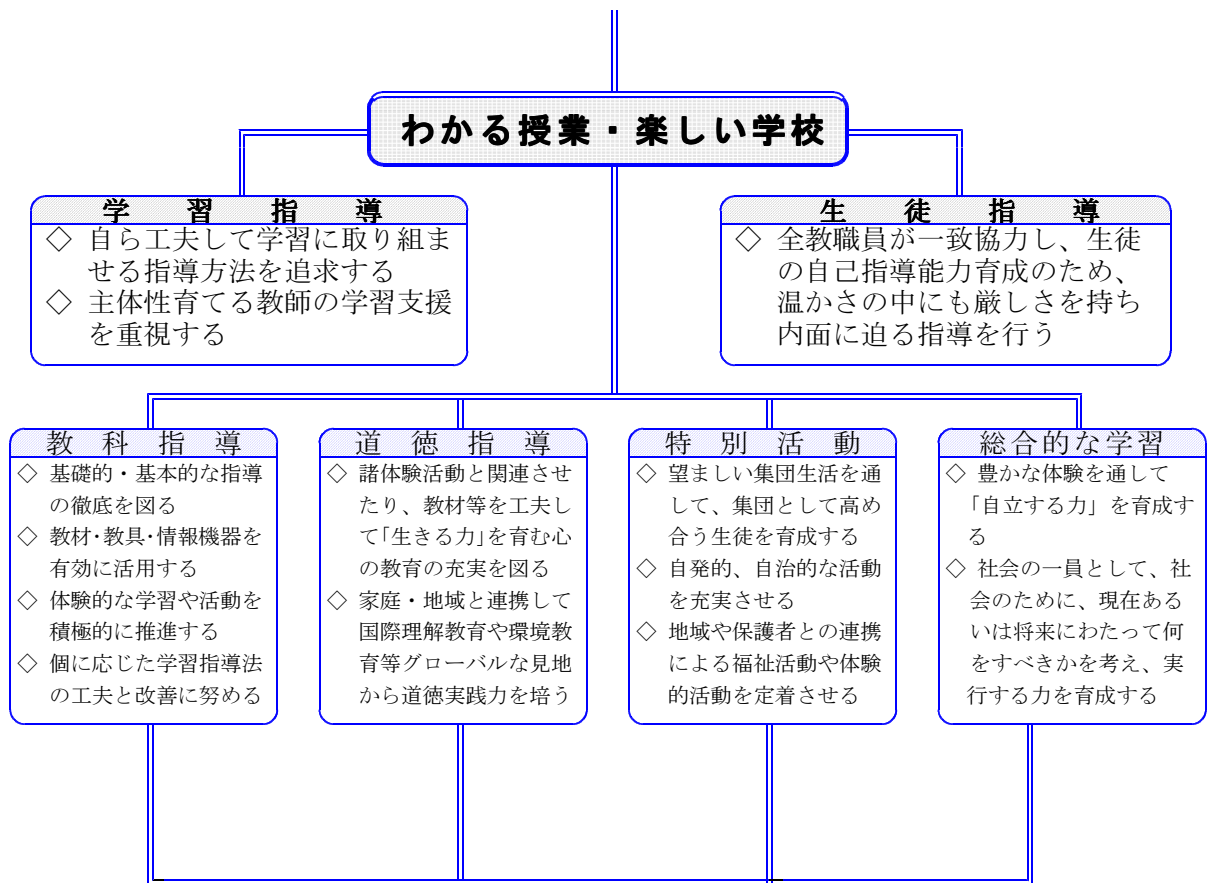


平成22年度 石山中学校経営管理全体計画（構想）



学 年 目 標	
<b>1 年</b>	<p>○中学生としての自覚を持ち、目標を定め責任ある行動がとれる生徒の育成                      ＊授業やいろいろな活動に、意欲的、積極的に取り組める生徒                      ＊ルールを守り、善悪の判断がしっかりできる生徒</p>
<b>2 年</b>	<p>○将来の夢と展望を持ち、自分の進路を拓いていくことのできる生徒の育成                      ○学校生活の向上を目指し、公正な判断のできる生徒の育成                      ○お互いに認め合い、支え合うことのできる生徒の育成                      ○豊かな心を持つ生徒の育成</p>
<b>3 年</b>	<p>○進路実現に向け、意欲的・計画的に取り組む生徒の育成                      ○互いを認め合い、思いやりを持ち、集団として高め合える生徒の育成                      ○学校生活の向上を目指し、いかなる不正も許さない、社会的規範をしっかりと身につけた生徒の育成</p>
<b>特別 支援 学 級</b>	<p>○何事も自分で判断し最後まで頑張る生徒の育成                      ○みんなで助け合う生徒の育成                      ○服装や生活態度などけじめある言動のできる生徒の育成                      ○挨拶がしっかりできる生徒の育成</p>



## 教育目標の具現化

### 【重点目標】

- ◆ 地域に開かれた学校を更に発展させ、地域・家庭・生徒の実態を踏まえた、特色ある教育課程を編成し実践する。
- ◆ 基礎・基本の徹底と個性を生かすための指導法の改善と指導体制の確立する。

### 【具体的方策】

- ◇ 自己教育力の育成（目的意識を持たせる）
  - ① 全教員が授業公開を行い、授業研究会・教科経営部会を充実させ、生徒の主体的な学習活動を支援する授業の工夫を講じる。
  - ② 望ましい職業観や勤労観を高め、生き方を育む体験を重視し、各教科、領域と「総合的な学習」を関連付け、勤労体験学習を推進する。
  - ③ 各学年で、学ぶことの楽しさや成就感が実感できる体験的な学習を推進する。
  - ④ 小中連携では、教科指導でも連携を図り、基礎学力向上へ向けてきめ細かな指導を充実させる。小学校での出前授業や文化・体育的な交流体験を実施する。
  - ⑤ 指導と評価の一体化より、楽しい授業、わかる授業を目指し、学習意欲を喚起する。
- ◇ 連帯感、実践力の育成（社会の中で生きる力をつける）
  - ① 互いに磨き合い、助け合う勤労体験、野外活動、宿泊活動、福祉活動等を積極的に推進し、豊かな感性を持ち、何事にもチャレンジできる生徒の育成に努める。
  - ② 特別支援教育の意義と特別支援の必要な生徒を正しく認識し、適切な交流の場を設定するとともに、特別支援教育の指導体制の充実に努める。
  - ③ 人権問題についての正しい理解と認識を深め、互いの人権を尊重し、支え合い、高め合う集団づくりに努める。
  - ④ 生徒会活動を活性化させ、生徒の自主的、自治的能力を高める。
  - ⑤ 国際理解に関する内容を教育課程に位置づけ、外国人生徒の立場を理解し、民族および生活や文化の違いを認め合い、相互に協力し合う態度を育成する。
- ◇ たくましい心と身体の育成（自らやり抜く力をつける）
  - ① たくましい心と身体を育てるために、自ら進んで活動できる資質や能力を育てる。
  - ② 地域の素材や人材、施設・機関等を活用し、生命尊重の心を育てる教育を充実する。

- ③ 健康で安全な生活を追求する中で運動の楽しさを体得させ、生涯体育の基礎づくりに努める。
- ④ 心身や生命の安全確保を図る意識の高揚と安全に対応する能力育成に努める。